

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワークの基盤と専門職		必修 (社、精) 選択 (心)	2	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
田村 正人	B308	masato.tamura	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;本科目では学生がソーシャルワーク実践の基盤となるソーシャルワークの倫理、価値、役割、相談援助の構成要素における歴史的、社会的な形成過程等について、講義、ディスカッション等を通じて理解し言語化できることを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt;教科書を中心に主要論点や概念等について解説する。理解が深まるように適宜実践事例等を紹介しイメージをもって取り組めるように進める。Microsoft Teams を使用した遠隔授業を行う。</p>				
学習上の助言	教科書や配布資料から気になるワードを自分なりに文献で調べることで探求する姿勢を身に着けてほしい。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座 ソーシャルワークの基盤と専門職 (共通・社会専門) /編：一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 /中央法規				
参考書	指定参考書なし (テキスト以外の必要資料は別途配布し、引用元として参考図書を紹介する。)				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	ソーシャルワークの形成過程と歴史的背景を理解し、説明することができる。			HSU(1)、WP(3)	
②	社会福祉士・精神保健福祉士の法的な位置づけについて理解し、説明することができる。			HSU(2)	
③	社会的な問題や社会福祉の対象について理解し、説明することができる。			HSU(1)、(3)、WP(2)	
④	ソーシャルワークの基盤としての価値・知識・技術について理解し、説明することができる。			HSU(2)	
⑤	ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解し、説明することができる。			HSU(2)、WP(4)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (授業の進め方、評価等についての説明、学習方法について理解する) 相談援助について学ぶ。	同時双方向型授業	配布プリント、教科書の講義内容を理解する。	4	
2	社会福祉士の役割と意義 社会福祉士の法的な位置づけと役割について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書(第1章、第1節)を精読する。	4	
3	現代社会と地域生活① 現代社会の背景と社会福祉士の役割と意義について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書(第1章、第2節)を精読する。	4	
4	現代社会と地域生活② 事例を通してソーシャルワークの意義を考える。	同時双方向型授業	教科書(第1章、第2節)の事例を精読する。	4	
5	相談援助の定義と構成要素①ソーシャルワーク専門職のグローバル定義から、ソーシャルワークの本質を考え理解する。	同時双方向型授業	教科書(第2章、第1節)を読んで様々な定義を整理する。	4	
6	相談援助の定義と構成要素② ソーシャルワークの構成要素について学び理解する。	同時双方向型授業	教科書(第2章、第2節)を精読する。	4	
7	相談援助の形成過程 I ①ソーシャルワーク前史からソーシャルワークへの発展を学び理解する。	同時双方向型授業	教科書(第3章、第1、2節)を精読する。	4	
8	相談援助の形成過程 I ② ソーシャルワークの基礎の確立過程を学び理解する。	同時双方向型授業	教科書(第3章、第1、2節)を精読する。	4	
9	相談援助の形成過程 II ①ケースワークからコミュニティ・オーガニゼーションへの流れを学び理解する。	同時双方向型授業	教科書(第4章、第2節)を精読する。	4	
10	相談援助の形成過程 II ②社会問題に対してソーシャルワークはどう展開していったのかを学び理解する。	同時双方向型授業	教科書(第4章、第2節)を精読する。	4	
11	相談援助の形成過程 II ③ソーシャルワークの統合化とジェネラリストソーシャルワークについて理解する。	同時双方向型授業	教科書(第4章、第3節)を精読する。	4	
12	相談援助の理念 I ①ソーシャルワークの実践と価値について学び理解する。	同時双方向型授業	教科書(第5章、第1、2節)を精読する。	4	
13	相談援助の理念 I ②ソーシャルワーク実践と権利擁護について学び、人権の尊重について理解する。	同時双方向型授業	教科書(第5章、第3節)を精読する。	4	
14	相談援助の理念 II ①クライアントの尊厳と自己決定について学び理解する。	同時双方向型授業	教科書(第6章、第1節)を精読する。	4	
15	相談援助の理念 II ②ノーマライゼーションと社会的包摂について学び理解する。	同時双方向型授業	教科書(第6章、第2節)を精読する。	4	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照する。				

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		70	0	0	0	30	100	
総合力指標	知識・技術力	30	0	0	0	0	30	
	思考・推論・創造する力	30	0	0	0	10	40	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	10	20	
評価のポイント		評価の実施方法と注意点					フィードバックの方法	
評価方法	行動目標							
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して評価する。試験は講義で用いた教科書、配布プリントから出題するので、予習や復習を行い理解度を確認すること。 ・試験形式（筆記試験） ・問題形式（選択式・記述式・穴埋め式など）					試験解答例を研究室入口及び、Teams 上に掲示する。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	講義で学んだことや感想、質問などをリアクションペーパーで提出してもらい、理解度を確認し意欲的に学ぶ姿勢を評価する。					授業で提出したリアクションペーパーは個別にコメントを記載し Teams にて返却する。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥							
備 考								
<p>【履修についての条件】</p> <p>*社会福祉士、精神保健福祉士国家試験受験を希望する者は必ず履修すること。</p> <p>【受講する際の注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Teams を使った同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。</li> <li>・ 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更があり得る。</li> <li>・ 同時双方向型授業では講義中にフィードバックを行う。できない部分は個別に質問に返答する場合もある。</li> <li>・ 授業中は積極的な発言を歓迎する。</li> </ul> <p>教員の実務経験：社会福祉士取得後 8 年の実務経験。</p> <p>実践的授業の内容：テキストの項目やシラバスの内容に沿って、教員が実践してきた事例（個人を特定できないよう加工）を用いたり、実践内容をソーシャルワークの基本に当てはめたりして説明することで、学生がより科目内容を具体的に学ぶことができるように学習を進める。</p>								